



市有地の処分（売却）について（東折尾地区市有地開発事業）

JR陣原駅南口の市有地について、公募型プロポーザル方式にて開発事業者を決定しました。

病院、商業施設及び住宅を計画しており、開発の詳細は次のとおりです。

1 市有地の処分の概要

○土地の地目及び所在地

地目：宅地

所在地：八幡西区陣原一丁目2番103

○土地の面積

2万500.01平方メートル

○売払い金額

18億46万円（募集における最低売却価格：約14億14百万円）

○契約締結日

令和4年3月9日

2 処分の相手方の概要

(1) 相手方：株式会社松尾組・医療法人しょうわ会・大英産業株式会社
選定方法：公募型プロポーザル方式（総合評価方式）

(2) 事業計画（提案内容）

- ・コンセプト：～あんしんとにぎわいとやすらぎの街～
「駅前≪医・商・住≫複合施設」
- ・事業期間：令和4年4月～令和7年4月（予定）
- ・医療提供施設：病院棟 病床数約200床（5階建て、建物面積15,200㎡）
アメニティ棟 薬局・カフェ等（1階建て、建物面積500㎡）
立体駐車場棟 250台（3階建て、建物面積4,500㎡）
- ・商業施設：スーパーマーケット（1階建て、建物面積2,400㎡）
- ・共同住宅：48戸（13階建て、建物面積4,000㎡）

3 今後のスケジュール（予定）

- ・令和4年9月 工事着手
- ・令和7年4月 まちびらき

※商業施設、共同住宅、医療施設の順にオープンし、全ての施設が揃った時点で「まちびらき」を行う予定です。

(位置図)



○開発事業予定者の事業計画

＜松尾組・しょうわ会・大英産業連合体＞

「駅前〈^い医・^{しょう}商・^{じゅう}住〉複合施設」

「街なか」発展拠点

開発理念

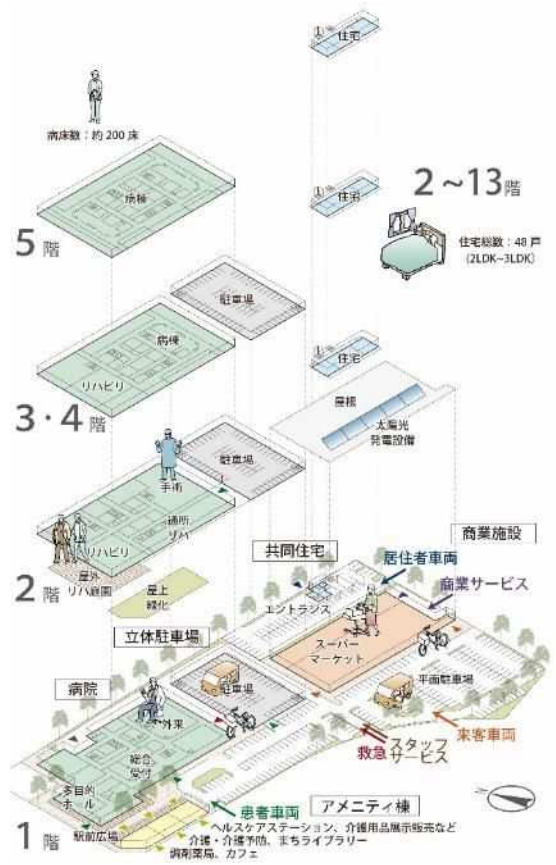
- 地域住民の健康を支え、安心して暮らせる「街なか」環境を整える。
- 地域住民の生活利便性を高め、にぎわいと豊かなアメニティを創造する。
- 「街なか」居住を促進し、持続的な地域の発展と周辺開発への波及を目指す。

基本方針

「あんしん」「にぎわい」「やすらぎ」を生み出し、「街なか」発展拠点となる、「駅前〈医・商・住〉複合施設」を実現します。

- あんしん：地域住民の健康を支える〈医療機能〉を導入し、安心な暮らしをサポートします。
- にぎわい：地域住民の利便性を高める〈商業施設〉を導入し、にぎわいを創出します。
- やすらぎ：「街なか」居住を促進する〈共同住宅〉を導入し、持続的な地域の発展と周辺開発への波及を目指します。





病院	病院棟	RC造	5階建て	15,200㎡
	アメニティ棟	S造	1階建て	500㎡
	立体駐車場 (250台)	S造	3層4段	4,500㎡
商業施設	スーパーマーケット	S造	1階建て	2,400㎡
住宅	マンション (48戸)	RC造	13階建て	4,000㎡